

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会

2015年度第6回(通算第35回)理事会 議事録

1. 開催日時：2016(平成28)年3月20日(日) 11:00～15:46(12:42～13:30休憩)
2. 場 所：「加瀬の貸会議室」 2階 第3会議室(横浜市港北区新横浜3-19-11 加瀬ビル88)
3. 審議事項および資料
 - 第1号議案(専権等の報告) 新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について
 - 第2号議案(専権等の報告) 業務執行報告(総務系)
 - 第3号議案(専権等の報告) 業務執行報告(事業系)
 - 第4号議案(専権等の報告) 平成27年度第2回統括会議報告
 - 第5号議案(専権等の報告) 3/19事業連絡調整会議開催報告
 - 第6号議案(専権等の報告) 事業の後援および協賛に関する承認について(報告)
 - 第7号議案(専権等の報告) 新規アンケート協力依頼専権発効報告
 - 第8号議案(専権等の報告) 第4回東日本復興支援リハビリテーション工学講習会 in 福島進捗報告
 - 第9号議案(決議) 大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会(JRAT)への加入について
 - 第10号議案(決議) 公認会計士事務所との契約締結の件
 - 第11号議案(決議) 第30回リハ工学カンファレンス in おきなわ開催報告
 - 第12号議案(決議) 第31回リハ工学カンファレンス in こうち要綱等の承認
 - 第13号議案(決議) 福祉機器コンテスト2015事業報告と決算報告について
 - 第14号議案(決議) 福祉機器コンテスト選考委員の承認について
 - 第15号議案(決議) 次期編集委員の選出について
 - 第16号議案(決議) 30周年記念事業開催の件
 - 第17号議案(決議) 支部の各規定整備(継続)
 - 第18号議案(決議) RESNA 提案の国際連携案への回答
4. 理事総数 14名
出席理事数 12名
 - 会長(代表理事) 繁成剛
 - 理事 石濱裕規、岩崎満男、沖川悦三、金井謙介、剣持悟、杉本昌子、高原光恵、中村俊哉、水澤二郎、山形茂生、吉田泰三
 - 監事 相川孝訓、赤澤康史
 - 事務局 深野栄子
 - 欠席理事 畠中規、宮野秀樹
5. 議事の経過の概要及び議決の結果
 - (1) 定款第49条に基づき、議長となる会長の繁成剛が本日の理事会は定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げたのち、開会の辞を述べた。
 - (2) 議事録署名人について、議長からの指名により、本日出席理事の杉本昌子と高原光恵の2名を選出した。

第1号議案(専権等の報告) 新入会者の承認についてメールによる承認者の報告について
事務局担当の沖川理事より、2015年度第5回(通算第34回)理事会以降に専権事項とした12月1日～

2月16日、2月17日～3月12日の計4名（正会員4名（下半期））の入会が報告され追認で承認された。
承認11、非承認0（会長除く）

第2号議案（専権等の報告）業務執行報告（総務系 2015年度第4回）

総務統括担当の水澤理事より、各業務執行理事の業務執行状況（2015年12月13日～2016年3月19日）が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

■ 総務統括／規則選挙担当

- ・ 総務系理事に対して、理事会・総会担当理事からの指示の元、12/26切として業務執行報告書の提出を求めた（2015年12月13日～2016年3月19日分）。

■ 理事会・総会担当

- ・ 2015年度第5回（通算第34回）理事会議事録の取りまとめを行った。
- ・ 2015年度第6回（通算第35回）理事会開催準備を行った。

■ 財務担当

- ・ 2月3日に現在契約している会計士事務所で会計処理に関する契約内容の確認及び今後の業務内容について協議した。
- ・ 2016年度会計年度の予算請求に関する取りまとめを行った。
- ・ 2015年度会計年度の2月末日までの中間決算を実施した。
- ・ 2015年度カンファレンスの会計決算に関する業務を実施した。
- ・ 福祉機器コンテスト2015に関する会計決算に関する業務を実施した。
- ・ 2015年度会計年度に関する通常業務を実施した。
- ・ 財務諸表に関する次年度以降の変更に関する協議を行った。

■ 副会長／事務局担当

- ・ 会計士事務所を訪問し、決算処理に向け、会計必要書類について会計士と調整し、毎月の会計データ書式等改善方法を検討した。
- ・ 後援・協賛依頼への承認回答を行った。※後援3件（継続）、協賛2件（継続）、他新規後援依頼への回答送付1件
- ・ 展示会出展における広報活動：HCR2016の出展準備（申込）、第12回新潟福祉機器展（試行出展）現地事務局と調整を行った。
- ・ メールニュースの配信：メールニュースを配信し、会員に情報提供を行った。※1月1件、2月3件、3月1件
- ・ ホームページの運営：会員サービスの一環とし、迅速に情報を掲載した。

■ 広報・渉外担当

- ・ メールニュース配信（5件）：配信作業を円滑に行うため手順を策定した。
- ・ メールニュース配信に関わる問合せ対応（1件）
- ・ メールニュース新規会員登録（2件）
- ・ メールニュース会員登録変更（1件）
- ・ 協会公式Facebook ページ立ち上げに関する準備作業を行った。

第3号議案（専権等の報告）業務執行報告（事業系 2015年度第4回）

事業統括担当の金井理事より、各業務執行理事の業務執行状況（前回理事会（2015年12月13日）から本理事会前日（2016年3月19日）まで）が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

■ カンファレンス担当

- ・ 第30回リハ工学カンファレンス最後の実行委員会に参加。現地実行委員の負担軽減のためのマニュアル整備等が必要。MICE 助成金満額承認（112万円）。監査終了し、全ての処理が完了。
- ・ 第31回リハ工学カンファレンスの開催準備：HP 開設（2/14）、企業展示募集（2/15）、演題募集（2/16）

が開始。UMIN システム稼働予定（3月中旬）。3/15 実行委員会に参加予定。6月高知福祉機器展で協会主催セミナー要望。

- ・ 第32回リハ工学カンファレンス開催準備：i-CREAtE2017との共同開催に向けた調整。
- コンテスト担当
 - ・ 福祉機器コンテスト2015 結果報告書作成：協会誌Vol.31 No.1に掲載。
 - ・ 福祉機器コンテスト2016 事務局委託契約締結（有限会社車座）。
 - ・ 福祉機器コンテスト2016 選考委員の選任及び内諾確認。
 - ・ 協賛企業の変更確認。
- 協会誌担当
 - ・ 協会誌Vol.31 No.1発行とVol.31 No.2、NO.3発刊に向けた執筆依頼と調整。
 - ・ 編集委員会にて、次期編集委員の募集および選出。
 - ・ 協会誌の電子化に関する検討：協会誌編集委員にアンケート実施、協会誌バックナンバー保管状況確認と目次整理着手。
- 分科会・専門委員会担当
 - ・ 第4回復興支援講習会の各SIGへの講師依頼を行った。
- 企画担当
 - ・ バリアフリー2016出展社ワークショップの支部調整と申し込み：「いっしょに考えようや！～24時間の生活と褥そう～」講師：宮野秀樹氏・下元佳子氏 司会進行：中村俊哉氏・杉本昌子氏
 - ・ 第5回合同シンポジウムについて実行委員会との調整。
 - ・ 東日本復興支援に関する講習会の開催準備。
 - ・ 30周年記念事業についての準備と調整、内容検討。
- 国際担当
 - ・ 3月TREATSカンファレンスにRESJA代表の招請依頼（繁成会長派遣）。
 - ・ 協会誌、協会ホームページに国際関連学会スケジュール掲載。
 - ・ 「支援技術専門家組織連合（仮称）」のRESNA素案に対する意見表明。
 - ・ 国際連携に関する協会活動報告を協会誌投稿（井村委員）。
- 事業統括
 - ・ 各展示会出展調整：BF2016、HCR2016、新潟福祉機器展ほか。
 - ・ 理事会関連業務：調整会議招集、業務執行報告取りまとめ、各理事相談対応。

第4号議案（専権等の報告）平成27年度第2回統括会議報告

総務統括担当の水澤理事より、前日3月19日に行った調整会議の報告がされた。

日時：2016年3月19日（土）15:15～16:55

場所：「加瀬の貸会議室」 2階 第4会議室

出席者：繁成会長、沖川副会長、水澤総務統括理事、金井事業統括理事、高原総会・理事会担当理事、吉田財務担当理事、杉本広報・渉外担当理事

オブザーバー出席：中村企画担当理事、赤澤監事

※今後、財務担当理事を中心に予算の精査を進め、5月中に再度統括会議を開催し、事業計画案・予算案の最終精査をすることとした。

第5号議案（専権等の報告）3/19 事業連絡調整会議開催報告

事業統括担当の金井理事より、前日3月19日に行った調整会議の報告がされた。

日時：2016年3月19日（土）13:00～15:05

場所：「加瀬の貸会議室」 2階 第4会議室

出席者：繁成会長、沖川副会長、金井事業統括理事、石濱協会誌担当理事、岩崎分科会・専門委員会／協会誌担当理事、剣持カンファレンス担当理事、中村企画担当理事、山形コンテスト担当理事
オブザーバー出席：高原総会・理事会担当理事、吉田財務担当理事

第6号議案（専権等の報告）事業の後援および協賛に関する承認について（報告）

事務局担当の沖川理事より、前回の理事会以降で、継続依頼のため専権事項として承認回答した後援・協賛依頼についての報告がされ追認で承認された。

- ・ 2015/12/15 後援 日本チェアスキー協会さまより「障害者スキー普及講習会 第37回日本チェアスキー大会」(2016/2/25～28)
 - ・ 2016/01/28 協賛 バイオメカニズム学会さまより「第37回バイオメカニズム学術講演会」(2016/11/12～13)
 - ・ 2016/02/04 後援 国立障害者リハビリテーションセンターさまより「支援機器利活用拡大シンポジウム2016」(2016/2/20)
 - ・ 2016/02/18 後援 NPO 法人ケアリフォームシステム研究会さまより「ケアリフォームシステム研究会全国大会 in 横浜」(2016/10/15)
 - ・ 2016/03/11 協賛 公益社団法人計測自動制御学会さまより「ライフエンジニアリング部門シンポジウム2016 (LE2016)」(2016/11/3～5)
- 承認 11、非承認 0 （会長除く）

第7号議案（専権等の報告）新規アンケート協力依頼専権発効報告

広報・渉外担当の杉本理事より、WHO（世界保健機関）より【優先福祉用具 WHO モデルリスト 世界規模調査】への依頼があり、回答期限間近のため、理事会MLにて専権伺いしたのち、専権行使・発効を行い、会員MLにて協会員へ協力依頼を行ったことが報告された。

第8号議案（専権等の報告）第4回東日本復興支援リハビリテーション工学講習会 in 福島進捗報告

企画担当の中村理事より、協会主催の第4回東日本復興支援リハビリテーション工学講習会 in 福島を開催することが報告された。

第4回復興支援講習会の実施について

開催日：平成28年5月7日～8日

開催場所：福島県福島市 福島テルサ

実施体制：実行委員長 沖川悦三氏（前復興支援専門委員会委員長）

実施内容：8SIGの協力により開催

協賛金：企業からの協賛金 Tシャツ作成とロゴ掲示（2口×3社、1口×30社）

広報：協会誌2月発行号に案内掲載、並びにresjaニュース等による募集開始

第9号議案（決議）大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）への加入について

副会長の沖川理事より、JRATは東日本大震災後に情報収集を中心に各団体にて初期対応を始めてからリハビリテーション専門職の災害支援への組織化を急務の課題ととらえ活動を継続しており、大規模災害に備え、リハビリテーション支援チームの育成・組織化・ネットワークの構築を推進し、大規模災害時において、救急救命に継続したリハビリテーションによる生活支援等により、生活不活発病等の災害関連死を防ぐことを目的としており、当協会も賛同して活動することが望ましいと考え、加入について条件等（会議への出席と会費の納入）を確認し、それらを踏まえて協会として加入するか否かの決議をお願いしたいとの提案がされ、審議の結果、更なる情報収集をすることとし、継続審議となった。

第10号議案（決議）公認会計士事務所との契約締結の件

財務担当の吉田理事より、現在も横山会計士事務所との会計処理に関する契約を提携しているが、契約締結時の契約の前提が法人の公益化を目指したものであったため、会計処理手法が公益化に準拠したものであったが、現在では社員総会、理事会で確認されているとおり、公益化を見据えた財務活動内容ではないことから、事務局の負担を鑑み、先方から一般法人向けの簡素化した会計入力処理を採用する旨、提案があり、改めて簡易会計入力処理を前提とした契約を締結することへの同意について提案がされ、審議の

結果、満場一致で承認された。

承認 11、非承認 0 (会長除く)

第 11 号議案 (決議) 第 30 回リハ工学カンファレンス in おきなわ開催報告

カンファレンス担当の剣持理事より、第 30 回リハ工学カンファレンス in おきなわの事業報告および収支報告 (第 30 回リハ工学カンファレンス in おきなわ実施報告書、決算報告、監査報告書) が提示され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認 11、非承認 0 (会長除く)

第 12 号議案 (決議) 第 31 回リハ工学カンファレンス in こうち要綱等の承認

カンファレンス担当の剣持理事より、2015 年 12 月 13 日の理事会で継続審議となった第 31 回リハ工学カンファレンス in こうちの要綱一式 (実行委員会規約、実行委員会名簿、事業要綱、実施要領、収支予算書) が提案され、満場一致で承認された。

承認 11、非承認 0 (会長除く)

第 13 号議案 (決議) 福祉機器コンテスト 2015 事業報告と決算報告について

コンテスト担当の山形理事より、福祉機器コンテスト 2015 の結果報告書と決算 (案) が提示され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認 11、非承認 0 (会長除く)

第 14 号議案 (決議) 福祉機器コンテスト選考委員の承認について

コンテスト担当の山形理事より、福祉機器コンテスト 2016 の選考委員の選任について提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認 11、非承認 0 (会長除く)

選考委員長 : 山形 茂生 日本リハビリテーション工学協会担当理事
選考委員 : リハ工学協会・関係者より 5 名 (50 音順)
中島 浩二 西日本工業大学 デザイン学部 情報デザイン学科
窪田 静 愛媛県立医療技術大学看護学科
野村 寿子 エコロジカルセラピー研究所
村田 知之 神奈川県総合リハビリテーションセンター
渡辺 崇史 日本福祉大学健康科学部

第 15 号議案 (決議) 次期編集委員の選出について

協会誌担当の石濱理事より、次期編集委員 (任期: 2016 年 4 月~2018 年 3 月) について、編集委員会による推薦と協会誌などによる公募から、下記 4 名を選出したことが報告された、審議の結果、満場一致で承認された。

承認 11、非承認 0 (会長除く)

■新規編集委員

野口 祐子 (聖学院大学人間福祉学部 人間福祉学科) 教員・当事者
鈴木 明子 (綱島鈴木整形外科, 横浜リハ (非常勤)) リハ医
東島 弘子 (国際医療福祉大学大学院 福祉支援工学分野) 教員・社会福祉士
榎田 美知子 (八王子市地域包括支援センター高尾) 看護師・当事者

■継続編集委員

岡田 裕生 編集委員長 (川村義肢株式会社)
西村 顕 副編集委員長 (査読) (横浜市総合リハビリテーションセンター)
木澤 健司 (東京都立墨東特別支援学校) 自立活動教諭/指導教諭
北岡 剛 (テクノクラフト) リハ・エンジニア

佐藤 遼太郎 (太田西ノ内病院) OT
谷口 公友 (広島国際大学) PO

第16号議案 (決議) 30周年記念事業開催の件

企画担当の中村理事より、日本リハビリテーション工学協会が30周年を迎えるにあたり、30周年記念事業とし、30周年記念会員懇親会をリハ工学カンファレンス in 高知の会期にあわせ開催したいと事業計画と予算案提示の上、提案があり、審議の結果、満場一致で承認された。

承認11、非承認0 (会長除く)

期日: 2016年8月27日 (土)

場所: 土佐御苑 (高知県高知市 大川筋1-4-8)

第17号議案 (決議) 支部の各規定整備(継続)

分科会・専門委員会担当の岩崎理事より、2015年10月4日理事会事後調整会議にて支部のあり方検討についての協議の結果、および前回理事会での議論を踏まえ、支部の規定を定めたいと支部規程(案)、支部活動費要綱(案)、支部内規(案)、支部区割り案が提示され、審議の結果、継続審議となった。

第18号議案 (決議) RESNA 提案の国際連携案への回答

国際担当の畠中理事(繁成会長代理)より、2015年12月13日の理事会にて承認され、基本方針は合意とし追記回答したRENSNAから提案された「支援技術専門家組織連合(仮訳)」について、各国の意見を元に修正提案が2016年2月17日付でRESNA事務局長Brogioli氏より回答期限が2016年3月1日で送られており、理事会開催後ということでは待っていただいていたが、理事会と国際連携推進委員会にも諮り、全体的には連携に賛成であるが、細かい部分は承諾し難いため下記回答とし、今後は、今月末のTREATSや夏のiCREATEを軸に、各国と相談や情報交換を行い、CreateAsiaを母体としてアジア連合として連合体に参加することを模索したいと提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認11、非承認0 (会長除く)

1. 当面はsteering committee(中央委員会)として単独で参加するが、何らかのアジア連合としての加盟を模索する。
2. 分担金は年間250USドル(約3万円)とする。
3. 分担金の使途を明確に規定するべき。
4. 中央委員会への会議参加や全体カンファレンスの追求が求められているが、努力義務の範囲でないと時間的にも財政的にも難しい。

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の2015(平成27)年度第6回(通算第35回)理事会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(15時46分)

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に署名又は記名・押印する。

2016年3月20日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会平成27年度第6回理事会

議 長 繁成 剛

議事録署名人 杉本 昌子

議事録署名人 高原 光恵